

6年生

「創立 150 周年記念 愛唱歌づくりの取組より」

第一回ワークショップ



ミニコンサート

音楽博士で宇都宮大学の先生でもある、ピアニストの平井李枝先生をお招きし、第一回ワークショップを行いました。

平井先生がこれまで作曲した曲や歌などを鑑賞するミニコンサートから始まりました。

6月23日(金)

歌詞作り①

由井一小的「女」や「素敵などころ」を見つけ、歌詞にしていきます。

平井先生から「七文字と五文字」を組み合わせてから歌詞ができていることを教えていただき、学校の良いところや学校から見える風景、未来に伝えたいことなどをテーマにキーワードを考えました。



「学校の素敵なところをたくさん知っていますね。」さすが6年生！！



歌詞作り②

最初は一人で考えます。セマスと五マスで区切られたワークシートに言葉をあてはめていきます。

「れきしをかたる あかれんが」「いしやまのぼって いいけしき」「みんなだのしい なかまたち」「ちいきのひとは みなえがお」子どもたちは歌詞作りに熱中していました。

歌詞作り⑤

クラスごとに考えた歌詞を、学年全体で発表し合いました。そして、さらに、一つ一つの歌詞を見直し、よりよい言葉に置き換えたり、二つのフレーズをつなげて考えたりしました。

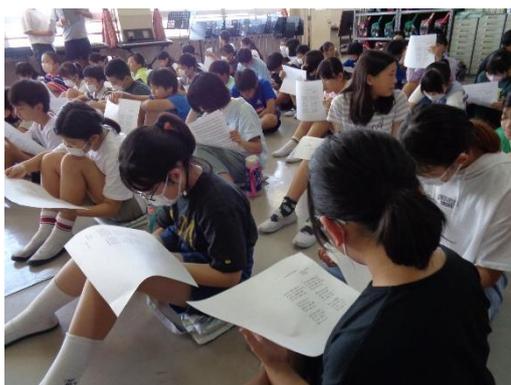


歌詞作り⑥

こうして、歌詞作りを始めてから、子どもたちは学校や地域、そこで過ごす子どもたちの「よさ」や「素敵なおところ」を再確認するとともに、協力しながら歌詞を作り上げていただきました。その過程の中で、友だちの良いところに気が付いたり、良い表現を取り入れたりするなど、語彙を増やすことにもつながりました。

愛唱歌の題名を考えよう①

夏休み中に、子どもたちから出されたキーワードをもとに、平井先生が曲作りをしてくださいました。作曲にあたっては、「一年生から六年生まで、楽しく歌える曲」になるよう、曲調や音域などを工夫し、「一番の歌詞には学校の歴史を盛り込み、一番には子どもたちが考えた歌詞を組み込んでくださいました。出来上がった歌詞を見ながら、さっそく練習に取り組みました。



第三回ワークショップ

8月29日(火)

作詞 令和5年度卒業生
補作 緒方礼子
作曲 平井季枝

愛唱歌の題名を考えよう②

歌詞を読み合い練習をする中で、この愛唱歌にふさわしい題名を付けることになりました。子どもたちからいろいろアイデアが出され、「由井一物語」に決定しました。由井一小の歴史が学べ、明治から令和に引き継がれる歴史物語にふさわしい歌詞と、優しいメロディは、子どもたちの心にぴったり合ったようです。

1
めいじろくねん きたのがくしゃ ひら
明治六年 北野学舎 開 かれた
よ か じんじや まな
読み書きそろばん 神社で 学んでた
きたのがっこう きたのじんじょうしょうがっこう
北野学校 北野尋常 小学校
しょうじ がっこう にかいだ こうしゃ
陣子の学校 二階建ての校舎

たいしょうろくねん こうしょう
大正六年 校章 できたよ
あかれんがもん ひ こ
赤レンガ門 引越し
ふろしきづつ わふく つうがく
風呂敷包みに 和服で通学
じゅうよんねん えき
十四年に 駅ができたよ

しょうわにじゅうにねん ゆい だいいち
昭和二十二年 由井 第一に
よんじゅういちねん ばってりーこうしゃ
四十一年 バッテリー校舎
せんにん こ ながぬましよう
千人超えて 長沼 小と
たかねしよう
高嶺 小に わけました

2
しょうわ へいせい れいわ みまも いしやま
昭和 平成 令和 見守る石山
ひろ こうしゃ あお そら みわた
広い校舎と 青い空 見渡せる
さくら もみじ いちよう きせつ はこ
桜 やモミジ 銀杏が 季節を運び
あかれんがもん れきし つた
赤レンガ門 歴史を伝えるよ

てつぼうぶらん こ たの
鉄棒 ブランコ 楽しくあそぼう
じゃぶじゃぶいけ かんさつ
ジャブジャブ池で 観察
べんきょう
勉強 しっかり おなかがすいたら
おいしい 給食で 充電

あか えがおまんてん
明るいころ 笑顔満点
かがや うたごえ
みんな 輝く 歌声がひびく
たくさん 学び たくさん わら
たくさん 笑う
はちおうじ ゆい だいいちしょう
八王子 由井第一小



9月4日(月)



歌唱練習

いよいよ本格的に歌唱練習が始まりました。歌詞を三つのブロックに分け、平井先生のリードでワンフレーズずつ歌う練習をしました。練習を重ねることに、音程も安定し、自信をもって歌う姿も見られるようになりました。歌詞をはっきり発音するために、母音をしっかりと音符に合わせて発音することも教えていただきました。

第四回ワークショップ

9月14日(木)

第五回ワークショップ

歌唱練習(二部合唱)

歌唱練習の二回目は、下のパートの練習です。愛唱歌を作るにあたり、六年生から「二部合唱にしたい」との声を受け、平井先生が下のパートを作ってきてくださいました。下のパートを中心に練習し、後半は、上のパートと下のパートに分かれて合唱しました。一回目から美しいハーモニーが奏でられ、さすが六年生!という実力を発揮していました。



第六回ワークショップ

六回目のワークショップでは、一・二組合同で体育館で練習しました。これまで、別々に練習してきましたが、今日は二つの学級合わせて歌う初めての練習です。ハーモニーの美しさや元気の良さなど、それぞれの学級の持ち味を十分生かし、歌声を合わせました。六年生全体での二部合唱にも挑戦しました。声のバランスも素晴らしく、美しいハーモニーを聞かせてくれました。全校児童で歌うのが楽しみです。

10月2日(月)



全校練習の
様子より



第七回ワークショップ

七回目のワークショップでは、全校合唱のリハーサルと、記念式典で発表する五・六年生の愛唱歌の練習です。

全校合唱は、音楽会の児童鑑賞日の最後に歌います。各学年で一生懸命練習に取り組んできた成果を発表する場にふさわしい、元気な歌声が体育館を包みました。

スペシャルゲストとして、学校運協協会の会長であり、みんなの先輩でもある 小俣さんがチェロを演奏してくれました。



11月13日(月)



五・六年生が参加する記念式典の練習では、呼びかけと愛唱歌のお披露目をします。代表児童が、学校の歴史や愛唱歌づくりの取組の様子を発表した後、平井先生のピアノ伴奏で愛唱歌を合唱します。

「由井第一小学校

創立百五十周年

おめでとうございます！」



5・6年生と平井先生とで
記念撮影です

